



大人のための Led Zeppelin のススメ

会員 高橋 右京 (60期)

1 音楽とは不思議なもので、昔は全然その良さがわからなかったり、はっきりと嫌いだったものが、いきなり好きになったりすることがよくある。ロック、R & B、ファンク、ブルース、ジャズといろいろ聞きかじってきた。年齢を重ねるに連れ、より渋いルーツミュージックへ踏み込んでいくのかと思いきや、意外とそうでもない。ここ最近でその良さにめざめてしまったのは、あのレッド・ツェッペリンである。

2 いわずもがな、レッド・ツェッペリン（以下「ツェッペリン」）とは、1968年にデビュー、1980年に解散した、1970年代を代表するイギリスのロックバンドである。

私が初めてツェッペリンを聞いたのは確か15歳くらいのころ。リアルタイムで聞いたわけではないが、名盤と言われていた「Led Zeppelin IV」を聞いた。有名な「天国への階段」はよいと思ったが、それ以外は「なんか暗い」という印象。20歳くらいのころだったか、「Presence」を聞いた。ファンキーな曲が多いこのアルバムはカッコいいと思ったが、その他のアルバムまで聞こうとは思わなかった。

つまり、一昨年くらいまでの私にとってのツェッペリンとは、「一応何枚か聞いた。わりと好き」という程度のバンドだった。

ところが、何がきっかけかよく覚えていないが、昨年、かれらのファーストアルバムのCDを買い、いたく感動してしまい、それから半年くらいかけてオリジナルアルバムはほぼすべて買いそろえてしまった。ちょうど2014年は彼らのアルバムのリマスター版が順次発売されていたので、「IV」などは買inaおしてしまった。

3 よくツェッペリンについて、「ハードロック・ヘヴィメタルの元祖」などと言われることがある。そういう一面もあることは否定しないが、これが誤解のもと。ヘヴィメタルの世界には、ジミー・ペイジより速くギターを弾ける人は、山ほどいるので、メタルとして聞くと、下手なバンドに聞こえてしまうおそれすらある（中学生のころの私がそうだった）。

私が思うに、彼らは本質的にはブルースのバンドなのだと思う。オリジナルなブルースをかじった後にツェッペリンを聞いてみると、ブルースに対する愛情、こだわりの深さがよくわかる。また、ブリティッシュ・トラッドなどからの影響も有名で、アコースティックな曲はとて美しい。さらには、ファンク、R & B、アメリカのフォークやウエストコースト・ロック、中東の音楽、レゲエなど、その守備範囲は実に幅広く、しかも、単に真似するだけに終わらず、ちゃんと消化して彼らの音楽にしている。彼らの音楽オタクぶりがひしひしと伝わってくる。この奥深さが、若き日の私にはわからなかったのだ。

ただ、これらのジャンルを消化した上で、圧倒的なパワーで聞かせるという意味では、確かに彼らの音楽は「ハード」で「ヘヴィ」だ。こんなバンドは他にいない。

4 そんなわけで、音楽は好きだし、レッド・ツェッペリンの名前くらいは知っているけどちゃんと聞いたことがない、ヘヴィメタはちょっと、という大人の皆さま、ぜひ一度かれらのアルバムを聞いてみてください。あえておすすめアルバムを選ぶとすれば、やはりファーストアルバム「Led Zeppelin」か。バラエティに富んでいてポップな「聖なる館」もよいかもかもしれない。